

<<本体プログラム（選択プログラム）>>

4-3 水生生物のコアゾーンづくり（トキ交流会館）

トキ交流会館を拠点に、地域活動団体「潟上水辺の会」の指導を受けてビオトープづくりを行います。本プログラムの中ではもっとも学習寄りの体験となります。

■トキ交流会館

トキ交流会館は、毎年数多くの体験学習、修学旅行などを受け入れ、ビオトープづくり、生きもの調べ、トキの野生復帰講話などを行っています。トキの野生復帰連絡協議会が、活動のための備品（長靴、スコップ、クワ、たも網、観察皿、観察用バケツ、水槽等）を用意しており、最大200名ほどのビオトープづくりを受け入れる能力を持ちます。

トキ交流会館での着替え、場合によってはシャワー、採取動植物の観察、図鑑等による同定なども可能です。

■潟上水辺の会

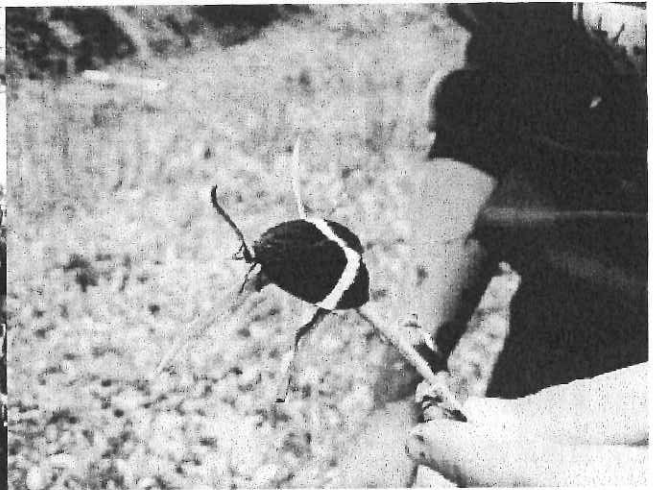
ビオトープづくりなどを指導するのは、トキ交流会館周辺の住民（農家）がつくる地域活動団体「潟上水辺の会」で、受け入れ人数に応じ、必要な人員を揃えて、安全に配慮しながら作業体験を指導します。ビオトープづくりの場所は、トキ交流会館から徒歩で20分圏内にあり、試験放鳥されたトキが採餌したこともあるエリアの近辺です。

■コアゾーンづくりの内容

各自スコップを持ち、水田の休耕地に小区画に切った畦をつくり、水を入れて「小さな水辺」をつくります。最初は、スコップで土を畦に盛り、ならす作業、その後は、床を踏みつけて固めていく作業です。基本的には、田んぼの代かき、畦ぬりの技術を使いますが、クワではなく、スコップでの作業とします。途中からは泥遊び、生きもの見つけに変わります。

所要時間：2時間（準備含む）、後学習、観察会などの場合、休憩を入れて3～4時間





修学旅行でのビオトープづくり体験学習の様子。